作られた「物語」を超えて ⑶

山極 寿一

11 ドラミングが戦いの宣言だという「物語」の誤解を超えた先には、「ゴリラが人間とは別の表現を用いて平和を保っている」という私にとって新しい価値をもつ豊かな世界が広がっていた。体の仕組みや能力の違う動物の視点に立つためには、その動物が暮らしている自然をよく知ることが必要になる。同じように、この地球に生きるさまざまな人々に起きている「物語」の真実を知るためには、その人々が暮らしている文化や社会をよく理解することが必要であろう。

12 話を作り、伝える能力は、言葉をもった人間に多くの仲間と交流できる世界をもたらした。そのおかげで、人間は見知らぬ人々と出会ってもすぐに受け入れることができるし、遠く離れた場所で起こった出来事をいっしょに喜び、悲しむこともできる。現代はさまざまな文化や社会で暮らす人々が国境を越えて行き交う時代である。だからこそ、自分勝手な独りよがりな解釈を避け、常識を疑うこと、何より自分を相手の立場に置き換えて考えてみる視点が重要である。作られた「物語」を超えて、その向こうにある真実を知ろうとすることが、新しい世界と出会うための鍵なのだ。

（11・12は教科書本文における形式段落番号を表します）

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 動物を理解するために必要なことを、[11]段落から二十字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

〔　　　〕〜〔　　　〕

(2) さまざまな人々に起きている「物語」の真実を知るために必要なことを、[11]段落から二十五字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

〔　　　〕〜〔　　　〕

(3) 作られた「物語」を超えるために大切なこととして筆者が挙げていることを二つ選びなさい。

ア 話を作ったり、伝えたりすることを避けること。
イ さまざまな人々が国境を越えて行き交うこと。
ウ 独りよがりな解釈を避け、常識を疑うこと。
エ 自分を相手の立場に置いて考えてみること。

〔　・　〕

(4) 筆者の主張に合うものを選びなさい。

ア 体の仕組みや能力の違う動物の視点に立つことはできないが、人間であれば相手の視点に立つことができる。
イ さまざまな人々と出会うようになった現代では、誤解を乗り越えるために言葉によらない交流をすることが必要である。
ウ これまで知らなかった新しい世界に出会うためには、「物語」の向こうにある真実を知ろうとする態度が大切である。

〔　〕